

パナマ内政・外交（2022年4月定期報告）

2022年4月のパナマの内政及び外交につき、以下のとおり報告する。

【ポイント】

- 25日より、パナマ政府は12歳以上の免疫抑制剤使用者及び50歳以上の全ての者に対する4回目ワクチン接種を開始する旨発表した。
- 1日、モイネス外相は、ゴンサレス米大統領特別補佐官兼米国家安全保障会議（NSC）筆頭局長（西半球担当）とオンライン会談を行った。
- 4日から12日まで、モイネス外相はアジア歴訪（中国、ベトナム、インドネシア、シンガポール）を行った。
- 19日、コルティソ大統領は、移民閣僚会合出席のためパナマを訪問したブリンケン米 국무長官及びマヨルカス米国土安全保障長官と会談した。
- 20日、パナマで開催された移民閣僚会合には、ブリンケン米 국무長官及びマヨルカス米国土安全保障長官他、中南米地域の外相等が出席した。
- 21日、モイネス外相はコスタリカ、エクアドル及びコロンビアとの間で、東部熱帯太平洋海洋回廊（CMAR）の協力強化及び保全にかかる外相宣言に署名した。
- 25日、モイネス外相は、パナマを訪問したアラマン・イベロアメリカ・サミット事務局長と会談した。
- 28日、コルティソ大統領はパナマを公式訪問したチャヴシュオール・トルコ共和国外相の表敬訪問を受けた。
- 29日、モイネス外相は、パナマを訪問したレーキー印国务大臣と会談した。

【本文】

●内政

1 新型コロナウイルス：4回目ワクチン接種の開始

25日より、スクレ保健大臣は、12歳以上の免疫抑制剤使用者及び50歳以上の全ての者に対する4回目ワクチン接種（任意）を開始する旨発表した。右対象者の接種間隔については、3回目のワクチン接種から（3か月の間隔をあけ）4か月目以降とするとしている。なお、50歳以上の者でも特に高血圧や糖尿病等の慢性疾患患者への4回目接種を推奨するとした。

●外交

1 モイネス外相とゴンサレス米大統領特別補佐官兼米国家安全保障会議（NSC）筆頭局長（西半球担当）とのオンライン会談

1日、「大西洋評議会 (Atlantic Council)」(米国のシンクタンク)に地域代表として招待されたモイネス外相は、フアン・ゴンサレス・米大統領特別補佐官兼米国家安全保障会議 (NSC) 筆頭局長 (西半球担当) と、新たな地政学的秩序における地域の課題と機会につき意見交換を行った。

2 モイネス外相のアジア歴訪

4日から12日まで、モイネス外相はアジア歴訪 (中国、ベトナム、インドネシア、シンガポール) を行ったところ、訪問概要以下のとおり。

(1) 中国

ア 4日、中国を公式訪問したモイネス外相は、王毅國務委員兼外交部長と会談し、協力、貿易・投資及び政治対話の3つの分野におけるパナマのアジェンダを提示した。

イ 貿易分野では、パナマの豚肉、鶏肉及びシーフードの認証プロセスが再開された他、中国側は、アジア市場への輸出を視野に入れ、パナマを中南米地域の農業輸出センターとする国際連合食糧農業機関 (FAO) のプロジェクトに関し、財政的支援の可能性を検討することで合意した。

ウ モイネス外相は、中国に対し、パナマ運河中立条約の議定書の批准につき、正式に要請した。両者は、右加盟のための適切なメカニズムを検討する専門家による交渉テーブルの創設につき合意した。

(2) ベトナム。

ア 5日から6日、ベトナムを公式訪問したモイネス外相は、ファム・ミン・チン・ベトナム首相を表敬した他、ブイ・タイン・ソン・ベトナム外相等と会談した。

イ モイネス外相はベトナム首相に対し、パナマにおけるベトナムの大使館及び貿易事務所の再開につき、改めて提案した。また、ベトナム側より、ASEANの主要枠組みの一つである「東アジアにおける友好協力条約 (TAC)」へのパナマの加盟を支持する旨約束した。

ウ ベトナム外相より、両国に寄与する戦略的ビジネス・投資協会の創設につき、パナマを招待した他、2023年3月にパナマで開催予定の「Our Ocean 2023」会議へのベトナムの参加につき確認した。

エ 両外相は、ベトナム市場への輸出に向けパナマ製品の工場の認証を促進するため、両国の代表団の往来につき合意した他、海事協定の署名に向けた作業チームの創設につき合意した。

(3) インドネシア

ア 7日から8日、モイネス外相はインドネシアを訪問し、マルスディ・インドネシア外相やジョクホイ・ASEAN事務総長等と会談した。

イ 7日、モイネス外相は、ジョクホイ・ASEAN事務総長と会談し、同事務局長は、「東アジアにおける友好協力条約（TAC）」へのパナマの次期加盟を支持する旨約束した。

ウ 7日、本年のG20サミットの議長国を務めるマルスディ・インドネシア外相と会談では、モイネス外相は、5月にパナマで開催予定の中米・カリブ地域会合において、同会合に参加する22か国による共同提案をG20サミットに伝達することを確認した。両外相は、二国間の外交官アカデミーの能力開発のための協力覚書に署名した。また、パナマ側より、パナマ国際海事大学（UMIP）とインドネシア運輸省の運輸人材育成庁との間の協力開発に関する意向書をインドネシアに正式に提出した。

エ また、同外相は、Bahlil Lahadalia・インドネシア投資大臣やSakti Wahyu Trenggono・インドネシア海洋水産大臣と会談した他、インドネシア商工会議所（KADIN）を訪問した。

（4）シンガポール

ア 11日から12日、シンガポールを訪問したモイネス外相は、リー・シェンロン・シンガポール首相への表敬の他、バラクリシュナン・シンガポール外相及びウォン財務大臣及びタン貿易産業相等と会談した。

イ 11日、リー・シェンロン首相より、パナマとの関係強化とパナマの「東アジアにおける友好協力条約（TAC）」への加盟を支持する意向が伝えられた。

ウ 12日、モイネス外相は、バラクリシュナン・シンガポール外相と会談において、太平洋を通じた協力を強化し、グローバル・サプライチェーンが機能するために不可欠な国際貿易のハブの国として共に取り組んでいくことを約束した。また、同日、モイネス外相は、グレース・フー・シンガポール持続可能性環境相との会談において、パナマで開催予定の「Our Ocean 2023」会合にシンガポールを招待した。

エ 医薬品開発に関し、11日、モイネス外相は両国の医療関連機関の連携強化に向けたロードマップの創設の他、パナマの関連機関への往訪等につき、シンガポール側と合意した。なお、同外相はシンガポール技能教育研修所（ITE）を訪問し、パナマ高等専門技能研修所（ITSE）とITE間の職業技術訓練にかかる覚書に署名した他、シンガポール国立研究財団（NRF）やシンガポール国際協力機構も視察した。

3 コスタリカ新大統領当選への祝意表明

3日、パナマ政府は、「兄弟国コスタリカ国民とその国民の大統領に選出されたロドリゴ・チャベス氏に祝意を表明する。今次選挙プロセスは、コスタリカの民主主義制度及び民主主義への取組みを証明している。パナマは引き続き、地域

の課題に取り組み、コスタリカとの友情の絆を深化させていく。」旨のプレスリリースを発売した。

4 ブリンケン米務長官のパナマ訪問

(1) 準備会合の実施

パナマ外務省は6日付プレスリリースにて、同日、(モイネス外相が外遊中のため、外務大臣臨時代行の)ゴルドン外務次官はパナマ・米国の二国間及び地域のアジェンダとブリンケン米務長官のパナマ訪問にかかる調整を目的として当国を訪問したSerena Hoy米国土安全保障省次官補(国際問題担当)、Emily Mendrala米務省西半球局次官補代理及びMarta Yout米務省人口・難民・移民局筆頭次官補代理と会合を行った旨報じた。

(2) コルティソ大統領とブリンケン米務長官との会談

ア 19日、コルティソ大統領は、移民閣僚会合に出席するためパナマを訪問したブリンケン米務長官及びマヨルカス米国土安全保障長官と大統領府において会談し、政治、貿易及び移民分野における二国間の懸案事項につき意見交換した。

イ コルティソ大統領は、6月に米国で開催予定の第9回米州首脳会議に、パナマより首脳レベルが参加することを確認するとともに、米州地域における人権強化にパナマが取り組むことを約束した。

ウ また、同大統領は、パナマがドミニカ共和国、コスタリカとともに加盟し、米国が後ろ盾する「民主主義における開発同盟(ADD)」につき、社会経済開発、貿易・投資関係の強化、サプライ・チェーンへの米国企業の関与に向けて、ともに取組み、具体的なアクションを実施するため前進していることを強調した。

エ 現行の米国との貿易促進協定(TPC)に関し、同大統領は、二国間の対話メカニズムの創設を呼びかけた。

オ 同大統領は、パナマが環境保全及び気候変動対策として、東部熱帯太平洋海嶺回廊(CMAR)の枠組みを外交方針に加え、大きく努力していることに言及しつつ、両国が気候関連の緊急事態に対処するとともに、かかる事態の緩和に向けた環境分野の協力関係を強化すべきであると強調した。

カ 今次会談には、パナマ側よりカリソ副大統領兼大統領府大臣、モイネス外相、ピノ治安大臣、テワニー内務大臣、マルティネス貿易産業大臣、バルデラマ農業開発大臣及びアレクサンダー経済財務大臣等が同席した。

5 移民閣僚会合の実施

(1) 20日、パナマにおいて開催された移民閣僚会合には、ブリンケン米務

長官及びマヨルカス米国土安全保障長官他、中南米地域の外相等を含む約30名の代表者が出席した。

(2) 今次会合の出席者は、(米州)大陸における政策への同意を得るべく、(関係諸国と)調整し、大量の移民の流入と右を助長する要因に対し、秩序正しく、安全かつ人道的に対処するために、国家、政府間組織、開発銀行及び国際援助基金間の協力を促進する枠組みを(参加国の)外相主導で、創設することに合意した。

(3) 今次会合では、①移民を受け入れるコミュニティの安定化とパンデミックからの回復、②不法移民の流入を抑制するメカニズムとして、インフラ整備や基本的ニーズ等、出身国の根本要因に対処、③出身国、通過国及び目的国間の現象に対処するための共同的责任の3つの方針が確認された。

6 東部熱帯太平洋海洋回廊(CMAR)に関する外相会合の実施

21日、モイネス外相は、ソラーノ・コスタリカ外相、オルギン・エクアドル外相及びコロンビア外務省代表と会談し、東部熱帯太平洋海洋回廊(CMAR)の協力強化及び保全にかかる外相宣言に署名した。同日、パナマは、コスタリカよりCMARの議長国を引継ぎ、海洋生物の多様性と海洋回廊の保護のためのコミットメントにつき、改めて確認した。

7 マクロン仏大統領当選への祝意表明

24日、パナマ政府は、本日の選挙を終えた仏国民に祝意を表明するとともに、マクロン仏大統領の新たな任期における成功を祈念する。我々は、引き続き両国の友好・協力関係を強化していくとするプレスリリースを発出した。

8 アラマン・イベロアメリカ・サミット事務局長のパナマ訪問

25日、モイネス外相は、パナマを訪問したアンドレス・アラマン・イベロアメリカ・サミット事務局長と会談した。アラマン事務局長は、次回のイベロアメリカ・サミットに向けてメンバー国との連携を強化し、協力に関する優先課題を進展させることを目的として、初のイベロアメリカ諸国の公式訪問をパナマから開始した。

9 トルコ外相のパナマ訪問：モイネス外相とトルコ外相の会談の実施

(1) 28日、コルティソ大統領はパナマを公式訪問したメヴリュット・チャヴシュオール・トルコ共和国外相の表敬訪問を受けた。同訪問には、モイネス外相も同席した。

(2) 表敬訪問後、モイネス外相はチャヴシュオール・トルコ外相と会談し、貿

易、文化協力、奨学金を受ける学生の交流、教育及び観光に関する協定等に関し意見交換を行った。両外相は、二国間の文化、学術、スポーツ、料理、エコロジー及び自然に焦点をあてた観光開発プロジェクトの推進にかかる協力協定に署名した。

10 インド国務大臣のパナマ訪問：モイネス外相とレーキー印国務大臣との会談

(1) 29日、モイネス外相は、パナマを訪問したミーナクシー・レーキー印国務大臣（外務・文化担当）と会談した。

(2) 同会談において、モイネス外相は、パナマの地理的立地と海上・航空輸送の戦略的な接続性を活用し、医薬品ハブを設置するためのパナマの利便性をインド側に提示した他、医薬品分野における「知識集約型産業」の創設につながる協力プログラムの推進等に関し、インド側よりの支援につき協議を行い、その実現を求めた。

(3) また、両大臣は、再生可能エネルギーの利用を政府の優先課題とし、持続可能なエネルギー転換を進めることへのコミットメントにつき、改めて言及した。

(4) モイネス外相は、SICA・インドの外相間の協力対話メカニズムの強化について提案するとともに、友好関係の再開に向けた文化・協力プログラムを強化する意志についても強調した他、2023年にインドがG20議長国に就任することに対し祝意を表明した。なお、レーキー印国務大臣はゴンサレス文化大臣とも会談した。

(了)